



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月6日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 名古屋銀行

コード番号 8522 URL <https://www.meigin.com/>

代表者 （役職名）取締役頭取 （氏名）藤原 一郎

問合せ先責任者 （役職名）常務執行役員経営企画部長 （氏名）飯田 篤 TEL 052-951-5911

配当支払開始予定日 ー

特定取引勘定設置の有無 無

決算補足説明資料作成の有無：有 決算補足説明資料は決算短信に添付しております。

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第1四半期	30,745	22.1	7,313	24.8	5,235	28.8
2025年3月期第1四半期	25,186	14.0	5,860	42.6	4,063	38.0

（注）包括利益 2026年3月期第1四半期 7,942百万円（－％） 2025年3月期第1四半期 △11,571百万円（－％）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	319.36	ー
2025年3月期第1四半期	245.84	ー

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第1四半期	5,871,062	281,938	4.8
2025年3月期	5,770,358	276,531	4.8

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 281,938百万円 2025年3月期 276,531百万円

（注）「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	ー	110.00	ー	160.00	270.00
2026年3月期	ー				
2026年3月期（予想）		150.00	ー	50.00	ー

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当行は、2025年4月22日開催の取締役会において、2025年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合で株式分割することを決議いたしました。2026年3月期（予想）の1株当たり期末配当金は当該株式分割の影響を考慮した金額を記載し、1株当たり年間配当金合計は「ー」としております。なお、株式分割を考慮しない場合の2026年3月期（予想）の1株当たり期末配当金は150円00銭、1株当たり年間配当金は1株当たり300円00銭となります。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率）

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	
第2四半期（累計）	56,700	17.2	10,300	△0.0	7,300	△2.8	円 銭 148.44
通期	113,000	9.9	21,700	3.8	15,200	3.2	309.08

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
2. 予想1株当たり当期純利益については、「2. 配当の状況」に注記した株式分割の影響を考慮しております。
なお、当該株式分割を考慮しない場合の予想1株当たり当期純利益は、第2四半期（累計）で445円32銭、通期で927円25銭となります。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P. 6 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	16,455,487株	2025年3月期	16,455,487株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	63,208株	2025年3月期	62,998株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	16,392,404株	2025年3月期1Q	16,530,675株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当行として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

目次	頁
1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
【参考】四半期決算補足説明資料	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、インバウンド消費の拡大や、賃上げ等の雇用環境の改善等により穏やかな回復基調を維持しました。その一方で、原材料・資源価格の高騰等による物価上昇や、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクの懸念、ウクライナ・中東情勢等の地政学リスクの継続により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経済状況下、当行の連結ベースでの経営成績は以下のとおりとなりました。

グループ全体の経常収益は、貸出金利息及び有価証券利息配当金等が増加したことを主な要因として、前年同期に比べ5,559百万円増加し30,745百万円となりました。経常費用は、預金利息及び国債等債券売却損が増加したことを主な要因として、前年同期に比べ4,106百万円増加し23,432百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同期に比べ1,452百万円増加し7,313百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ1,171百万円増加し5,235百万円となりました。

セグメントごとの経営成績につきましては、次のとおりであります。

① 銀行業務

経常収益は、前年同期に比べ5,588百万円増加し24,809百万円となりました。セグメント利益は、前年同期に比べ1,604百万円増加し7,812百万円となりました。

② リース業務

経常収益は、前年同期に比べ45百万円増加し5,715百万円となり、セグメント利益は、前年同期に比べ165百万円減少し115百万円となりました。

③ カード業務

経常収益は、前年同期に比べ12百万円増加し634百万円となり、セグメント利益は、前年同期に比べ50百万円増加し206百万円となりました。

④ その他業務

経常収益は、前年同期に比べ7百万円増加し669百万円となりました。セグメント利益は、前年同期に比べ10百万円増加し△4百万円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

預金の当第1四半期連結会計期間末残高につきましては、前連結会計年度末に比べ、286,187百万円増加し5,076,370百万円となりました。預金の増加のうち、個人預金につきましては、9,498百万円の増加となりました。

貸出金の当第1四半期連結会計期間末残高につきましては、住宅ローンを中心とした個人向け融資等に積極的に対応した結果により前連結会計年度末に比べ、577百万円増加し3,990,906百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2025年5月13日に公表しました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
現金預け金	711,182	826,490
コールローン及び買入手形	1,196	5,213
商品有価証券	2	8
有価証券	936,433	919,157
貸出金	3,990,329	3,990,906
外国為替	4,473	4,004
リース債権及びリース投資資産	42,047	42,113
その他資産	27,959	26,635
有形固定資産	41,654	41,261
無形固定資産	1,025	912
退職給付に係る資産	21,010	21,051
繰延税金資産	866	864
支払承諾見返	9,429	10,021
貸倒引当金	△17,252	△17,578
資産の部合計	5,770,358	5,871,062
負債の部		
預金	4,790,183	5,076,370
譲渡性預金	235,996	49,600
借入金	367,700	357,914
外国為替	680	400
社債	10,000	10,000
信託勘定借	1,478	1,466
その他負債	52,045	56,684
賞与引当金	1,137	308
役員賞与引当金	15	4
退職給付に係る負債	263	264
役員退職慰労引当金	35	30
睡眠預金払戻損失引当金	49	43
偶発損失引当金	1,308	1,454
利息返還損失引当金	24	24
繰延税金負債	20,629	21,731
再評価に係る繰延税金負債	2,847	2,806
支払承諾	9,429	10,021
負債の部合計	5,493,827	5,589,124
純資産の部		
資本金	25,090	25,090
資本剰余金	21,241	21,241
利益剰余金	173,486	176,187
自己株式	△429	△431
株主資本合計	219,389	222,089
その他有価証券評価差額金	47,959	50,927
繰延ヘッジ損益	—	△0
土地再評価差額金	3,785	3,696
退職給付に係る調整累計額	5,396	5,225
その他の包括利益累計額合計	57,141	59,848
純資産の部合計	276,531	281,938
負債及び純資産の部合計	5,770,358	5,871,062

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
経常収益	25,186	30,745
資金運用収益	12,175	16,676
(うち貸出金利息)	7,497	10,147
(うち有価証券利息配当金)	4,393	5,526
信託報酬	4	7
役務取引等収益	2,956	3,170
その他業務収益	6,892	6,923
その他経常収益	3,158	3,967
経常費用	19,325	23,432
資金調達費用	1,898	4,400
(うち預金利息)	371	2,912
役務取引等費用	1,014	1,150
その他業務費用	8,304	9,147
営業経費	7,526	8,070
その他経常費用	582	664
経常利益	5,860	7,313
特別利益	1	281
固定資産処分益	1	281
特別損失	11	26
固定資産処分損	11	26
税金等調整前四半期純利益	5,850	7,568
法人税等	1,786	2,333
四半期純利益	4,063	5,235
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,063	5,235

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	4,063	5,235
その他の包括利益	△15,635	2,707
その他有価証券評価差額金	△15,365	2,968
繰延ヘッジ損益	7	△0
土地再評価差額金	—	△89
退職給付に係る調整額	△278	△170
四半期包括利益	△11,571	7,942
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△11,571	7,942

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

I. 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	銀行業務	リース業務	カード業務	計		
経常収益						
外部顧客に対する経常収益	18,370	5,614	565	24,551	641	25,192
セグメント間の内部経常収益	850	54	56	961	20	982
計	19,221	5,669	622	25,512	661	26,174
セグメント利益又は損失(△)	6,207	280	156	6,644	△14	6,630

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、事務委託サービス業務等を含んでおります。

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(1) 報告セグメントの経常収益の合計額と四半期連結損益計算書の経常収益計上額

(単位: 百万円)

経常収益	金額
報告セグメント計	25,512
「その他」の区分の経常収益	661
セグメント間取引消去	△982
貸倒引当金戻入益	△6
四半期連結損益計算書の経常収益	25,186

(注) 一般企業の売上高に代えて経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と四半期連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書の経常利益計上額

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,644
「その他」の区分の損失(△)	△14
セグメント間取引消去	△769
四半期連結損益計算書の経常利益	5,860

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ. 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	銀行業務	リース業務	カード業務	計		
経常収益						
外部顧客に対する経常収益	23,863	5,662	580	30,106	651	30,758
セグメント間の内部経常収益	945	52	53	1,052	18	1,070
計	24,809	5,715	634	31,159	669	31,828
セグメント利益又は損失(△)	7,812	115	206	8,134	△4	8,129

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、事務委託サービス業務等を含んでおります。

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(1) 報告セグメントの経常収益の合計額と四半期連結損益計算書の経常収益計上額

(単位:百万円)

経常収益	金額
報告セグメント計	31,159
「その他」の区分の経常収益	669
セグメント間取引消去	△1,070
貸倒引当金戻入益	△12
四半期連結損益計算書の経常収益	30,745

(注) 一般企業の売上高に代えて経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と四半期連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書の経常利益計上額

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	8,134
「その他」の区分の損失(△)	△4
セグメント間取引消去	△816
四半期連結損益計算書の経常利益	7,313

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	671百万円	605百万円

【参考】四半期決算補足説明資料
表紙

1. 損益の状況（単体）	11
2. リスク管理債権及び金融再生法開示債権の開示（単体）	12
3. 自己資本比率（国際統一基準）（単体・連結）	13
4. 時価のある有価証券の評価損益（単体）	14
5. 預金等・貸出金の残高（単体）	15
（参考）預り資産残高（単体）	15
6. 単体決算要約	16

1. 損益の状況 (単体)

当第1四半期の経常収益は、247億円（通期予想比28.8%）となりました。
 経常利益は77億円、四半期純利益は57億円となりました。
 与信関連費用は4億円となりました。

【単 体】

(単位：百万円)

(単位：百万円)

	2025年3月期 第1四半期 (3ヵ月間) (A)	2026年3月期 第1四半期 (3ヵ月間) (B)	比 較 (B) - (A)	2026年3月期 第2四半期 累計期間予想 (6ヵ月間)	2026年3月期 通期予想 (12ヵ月間)
経常収益	19,189	24,759	5,570	43,800	86,000
業務粗利益 ①	10,484	11,874	1,390		
資金利益	11,071	13,168	2,096		
役務取引等利益	1,902	1,986	84		
その他業務利益	△2,489	△3,280	△790		
(うち国債等債券損益) ②	(△2,594)	(△3,245)	(△651)		
経費(除く臨時処理分) (△) ③	7,278	7,642	364		
人件費	4,130	4,453	323		
物件費	2,670	2,685	15		
税金	477	503	25		
実質業務純益 (①-③) ④	3,206	4,232	1,026		
コア業務純益 (④-②)	5,800	7,478	1,677		
コア業務純益 (除く投資信託解約損益)	5,800	7,443	1,642		
一般貸倒引当金繰入額 (△) ⑤	155	△318	△473		
業務純益	3,051	4,550	1,499		
臨時損益	3,119	3,205	86		
不良債権処理額 (△) ⑥	26	803	776		
貸倒引当金戻入益 ⑦	—	—	—		
償却債権取立益	—	—	—		
株式等関係損益	2,947	3,780	833		
その他臨時損益	198	228	29		
経常利益	6,170	7,756	1,585	10,500	20,900
特別損益	△11	254	265		
税引前四半期純利益	6,158	8,010	1,851		
法人税等 (△)	1,637	2,221	584		
四半期純利益	4,520	5,788	1,267	7,700	14,900
与信関連費用 (⑤+⑥-⑦)	181	485	303		

2. リスク管理債権及び金融再生法開示債権の開示 (単体)

リスク管理債権及び金融再生法開示債権の不良債権額は、2024年6月末比207億円減少して795億円となり、対象債権合計比は、1.95%となりました。なお、2025年3月末比では、7億円減少しております。

【単 体】

(単位：百万円)

(単位：百万円)

	2024年6月末 (A)	2025年6月末 (B)	比 較 (B)－(A)	(参考) 2025年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	9,542	9,420	△121	9,398
危険債権	74,872	58,003	△16,869	58,072
要管理債権	15,811	12,084	△3,727	12,760
三月以上延滞債権	1,113	623	△489	914
貸出条件緩和債権	14,698	11,460	△3,237	11,845
合計	100,226	79,508	△20,718	80,231
対象債権合計	3,858,448	4,076,583	218,134	4,070,435
対象債権合計比 (%)	2.60	1.95	△0.65	1.97

3. 自己資本比率 (国際統一基準) (単体・連結)

「第3の柱 (市場規律)」に基づく「自己資本の構成に関する開示事項」並びに「レバレッジ比率に関する開示事項」及び「流動性カバレッジ比率に関する開示事項」につきましては当行ホームページ(<https://www.meigin.com/>)に掲載しております。

【単 体】

(単位：億円)

〔速 報 値〕	2025年3月末	2025年6月末
1. 単体総自己資本比率 (4/7)	11.47%	11.78%
2. 単体Tier1比率 (5/7)	9.91%	10.24%
3. 単体普通株式等Tier1比率 (6/7)	9.91%	10.24%
4. 単体における総自己資本の額	2,864	2,947
5. 単体におけるTier1資本の額	2,475	2,562
6. 単体における普通株式等Tier1資本の額	2,475	2,562
7. リスク・アセットの額	24,959	25,017
8. 単体総所要自己資本額 (7×8%)	1,996	2,001

【連 結】

(単位：億円)

〔速 報 値〕	2025年3月末	2025年6月末
1. 連結総自己資本比率 (4/7)	11.74%	12.04%
2. 連結Tier1比率 (5/7)	10.18%	10.49%
3. 連結普通株式等Tier1比率 (6/7)	10.18%	10.49%
4. 連結における総自己資本の額	2,984	3,062
5. 連結におけるTier1資本の額	2,588	2,669
6. 連結における普通株式等Tier1資本の額	2,588	2,669
7. リスク・アセットの額	25,408	25,419
8. 連結総所要自己資本額 (7×8%)	2,032	2,033

(注) 自己資本比率の算出にあたっては、以下の手法を採用しております。

- ・信用リスクに関する手法：標準的手法
- ・オペレーショナル・リスクに関する手法：標準的計測手法

小数点第2位未満を切捨てにて表示しております。

4. 時価のある有価証券の評価損益 (単体)

その他有価証券の評価損益は、2024年6月末比200億円減少して、730億円の評価益となりました。

【単 体】

(単位：百万円)

(単位：百万円)

	2024年6月末			2025年6月末			(参考) 2025年3月末		
	評価損益			評価損益			評価損益		
		評価益	評価損		評価益	評価損		評価益	評価損
満期保有目的	△5,289	—	5,289	△5,163	—	5,163	△7,991	—	7,991
債券	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	△5,289	—	5,289	△5,163	—	5,163	△7,991	—	7,991
その他有価証券	93,058	114,161	21,102	73,034	87,576	14,541	68,889	89,069	20,179
株式	111,900	111,917	17	82,527	82,572	45	85,516	85,575	59
債券	△17,440	12	17,453	△12,307	174	12,481	△17,187	29	17,217
その他	△1,400	2,231	3,631	2,814	4,829	2,014	560	3,463	2,902

(注) 「評価損益」は、「満期保有目的」については貸借対照表計上額と時価の差額を計上し、「その他有価証券」については時価評価しておりますので貸借対照表計上額と取得原価の差額を計上しております。

5. 預金等・貸出金の残高(単体)

預金等残高(預金+譲渡性預金)は、2024年6月末比3,495億円増加し、5兆1,355億円となりました。そのうち個人預金は、2024年6月末比76億円減少し、2兆6,640億円となりました。

貸出金は、2024年6月末比2,127億円増加し、4兆100億円となりました。そのうち消費者ローンは2024年6月末比453億円増加し、1兆2,656億円となりました。

【単 体】

(単位：百万円)

(単位：百万円)

	2024年6月末 (A)	2025年6月末 (B)	比 較 (B)－(A)	(参考) 2025年3月末
預金等	4,786,014	5,135,515	349,500	5,033,279
うち個人預金	2,671,720	2,664,052	△7,668	2,654,553
貸出金	3,797,253	4,010,040	212,787	4,005,538
うち消費者ローン	1,220,248	1,265,608	45,359	1,254,746

(注) 預金等＝預金＋譲渡性預金

(参考) 預り資産残高(単体)

【単 体】

(単位：百万円)

(単位：百万円)

	2024年6月末 (A)	2025年6月末 (B)	比 較 (B)－(A)	(参考) 2025年3月末
投資信託	150,469	164,548	14,078	151,704
公共債	14,510	17,519	3,008	15,917
保険商品	388,855	431,985	43,130	420,793
外貨預金	20,810	22,497	1,686	21,732
合計	574,646	636,550	61,904	610,148

